

# 医療植物研究施設

■所在地	北海道上川郡一の橋 607 番地	■木材使用量	49.0m <sup>3</sup>
■設置者	下川町	うち地域材	48.0m <sup>3</sup>
■構造	木造平屋建	■延床面積	177.81m <sup>2</sup>
■使用樹種	構造材：カラマツ、トドマツ 壁・造作材：トドマツ、ナラ、ニレ 外 壁：カラマツ燻煙材		



## ◆施設の概要

本施設は、未利用森林資源の新たな利活用を研究すること、さらには、本町がこれまで取り組んできた地域材を活用した木造建築技術を活かし、多様な樹種の多様な使い方・デザイン性を提示し、木材需要を喚起するショーケースとしてPRすることを目的に、薬木・薬草の栽培研究等を行う拠点施設として建設しました。

## ◆工法等の特徴

この建物は、土台を除くすべての構造材、下地材にトドマツ製材を使用しています。構造計算の工夫を行い、住宅用の小さいサイズのトドマツ製材で構成する木造トラスと薄いラティスマ材を組み合わせた梁を掛け渡し、広々とした空間を演出しました。

## ◆整備に当たり工夫したこと

インテリアでは、床や壁に木肌の白いトドマツ材を多く用いて明るく仕上げた中に、深みのある表情を持ったナラ材やニレ材を使用しました。

外装は、下川町産カラマツ燻煙材で仕上げ、隣接する一の橋バイオビレッジ（集住化住宅）の建物群との調和を図りました。

## ◆利用者の声

「一の橋地区木質バイオマス地域熱供給施設からの温水供給による暖房システムも整備され、快適な執務・研究環境です。」などといった声が寄せられています。